

人を支えることは、人に支えてもらうこと。

10月3日(土)に本校近くの長洲会館にて行われた高齢者のお話会に参加してくれました。2、3年生の合計7名が参加し、市の民生委員や尼崎のお手玉の会の方々とお菓子を食べつつ、健康体操を行ったり、お手玉を用いたゲームも実施しました。お手玉という伝統的な遊びを通じ、「性別や年齢を超えた交流」が生まれており、人のつながりを感じられる空間となりました。世代による恋愛事情の違いについて話をされている方やお手玉の方法を高齢者の方が高校生に教えてくれる場面もあり、何より参加者の方々が「来るかどうか少し迷っていたけれど、来てよかった。」「人と話すと元気になる。」「高校生と話す機会はないので嬉しい。元気が貰えました。」とおっしゃっていたことが印象に残りました。2年生の探究学習では「在宅」「防災」「子ども」「発達障害」「臓器移植」に分かれて活動中です。入り口は違えど、どの班も「孤立・孤独」という地域課題が見つかり、高校生としてこの課題に向きあっています。今回の交流では、まさに「人が集うことの素晴らしさ」を感じられました。誰かが喜ぶ顔を見ると元気が出るのです。みんなで「孤立や孤独が起きにくい地域」にすることで「自分も孤立しにくい地域」を作ることになると思います。「人を支えることは、人に支えてもらうこと」なのだと改めて感じ、高校生の持つ力を実感した素敵な空間でした！



防災食甲子園、決勝進出!!「#ぼーおむ」

第2回 防災食レシピ甲子園 in 西宮に出場した「Team たべる防災 - 尼小田防災班×喜楽苑」が一次予選を突破し、決勝へ進出しました！決勝は一次審査を通過した上位5組が、提出したレシピ通りに30分以内で調理を行います。品目は「米粉でつくる防災オムレット#ぼーおむ」です。「美味しい、作りやすい、みんなで食べられる」にこだわり、特定原材料9品目を用いず、アレルギーにも配慮した一品です。非常時だからこそ「見た目にも楽しんでほしい」、「食べておいしい」、「見て可愛い」を目指しました。家庭備蓄やローリングストック、市の備蓄などを調べる中で、災害時だからこそ、食べる時間を愉しみ、少しでも心をやわらげ、笑顔になって欲しいという想いから生まれた一品。数々の試行錯誤と失敗、研鑽の末にたどり着きました。すべての人間にとって、「食べることは生きること」です。女子高校生の生んだ熱意と管理栄養士による技術、知識が組み合わさった一品です。決勝は11月22日。いざ！

